



LIPPS

2025年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年10月15日
東

上場会社名 株式会社リップス 上場取引所
コード番号 373A URL <https://lipps.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 的場 隆光
問合せ先責任者（役職名） 取締役経営管理部長（氏名） 上原 大輔（TEL）03(6804)3101
定時株主総会開催予定日 2025年11月27日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年11月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け）
（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期の業績（2024年9月1日～2025年8月31日）

（1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	4,409	17.2	949	31.7	940	30.8	652	53.9
2024年8月期	3,760	21.1	720	△6.0	719	△6.6	423	△21.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年8月期	260.01	238.02	20.3	25.7	21.5
2024年8月期	169.48	—	16.2	23.1	19.2

（参考）持分法投資損益 2025年8月期 —百万円 2024年8月期 —百万円

- （注）1. 当社は、2025年3月15日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 2024年8月期における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 当社は、2025年6月30日に東京証券取引所グロース市場に上場しております。2025年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2025年8月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期	4,073	3,617	88.8	1,418.70
2024年8月期	3,252	2,823	86.7	1,128.56

（参考）自己資本 2025年8月期 3,617百万円 2024年8月期 2,821百万円

- （注）当社は、2025年3月15日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期	676	△13	124	2,652
2024年8月期	△21	△94	—	1,864

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2026年8月期の業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	4,748	7.7	705	△25.7	705	△25.0	489	△24.9	192.07

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期	2,550,000 株	2024年8月期	2,500,000 株
② 期末自己株式数	2025年8月期	— 株	2024年8月期	— 株
③ 期中平均株式数	2025年8月期	2,508,767 株	2024年8月期	2,500,000 株

(注) 当社は、2025年3月15日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(会計方針の変更)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大が消費を下支えするなか、緩やかな回復基調で推移しました。一方で先行きについては、物価上昇の継続に伴う消費マインドの低下や、米国をはじめとする各国の通商政策などにより依然として不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況下で当社におきましては、ヘアワックスシリーズを中心に小売店への配荷が拡大したことに加え、Amazonを中心とするEC通販サイトにおいて「スタイリストシャンプー&トリートメント」などの出荷が引き続き伸長したことにより、過去最高の売上高を更新しました。

この結果、当事業年度における当社の売上高は4,409,577千円（前年同期比17.2%増）となりました。利益面につきましては、売上の増加に伴い運送費が増加したことや、事業拡大に伴い人員増強を図ったことなどにより販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は949,306千円（前年同期比31.7%増）、経常利益は940,739千円（前年同期比30.8%増）、当期純利益は652,302千円（前年同期比53.9%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりとなります。

(商品事業)

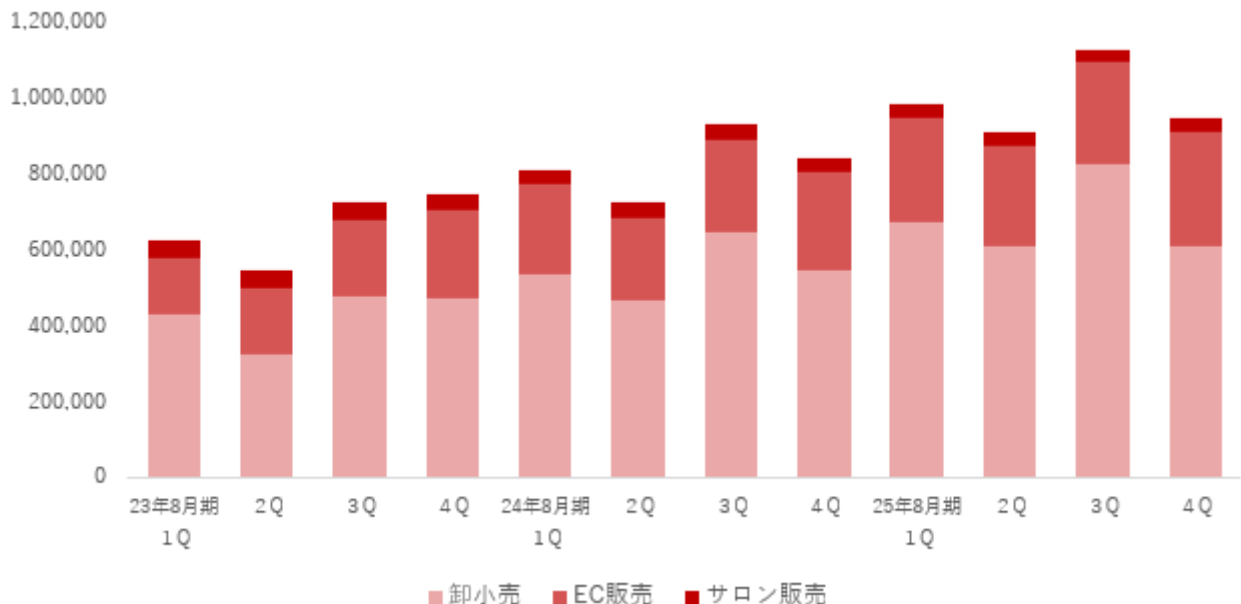
商品事業は、9月に「スタイリストヘアマスク」、10月に「ハンドスタイリングクリーム」及び「スタイリングバーム」などヘアケア、スキンケア、スタイリング剤の各カテゴリに新商品を投入し、商品ラインナップの拡充を図るとともに、新商品等の認知拡大及び新規顧客の獲得を目的として、新商品と既存商品を組み合わせた企画品のセット販売や、特定小売店向けの限定商品の販売など様々なプロモーション施策を実施しております。

また、スキンケア、メイクアップブランドである「LIPPS BOY(リップスボーイ)」の初の旗艦店「LIPPS The Flagship~The Standard of Men's Beauty~」を渋谷にオープンし、商品の体験を通じたフェイススタイリングの提案を発信する取り組みも行っております。

さらに、EC通販において新たなユーザーの獲得を企図し、2024年9月に楽天市場に公式ショップを開設、2025年4月にはZOZOTOWNにLIPPSストアを開設しました。売上については、楽天市場・ZOZOTOWNともに計画通り順調に推移しております。

なお、2023年8月期以降の四半期ごとの商品売上の販売チャネル別推移は次のとおりとなります。

(単位：千円)



この結果、当事業年度における商品事業のセグメント売上高は3,968,931千円（前年同期比19.9%増）、セグメント利益は785,864千円（前年同期比28.9%増）となりました。

(サロンフランチャイズ事業)

サロンフランチャイズ事業は、近年ヘアサロン業界でシェアサロンの普及やフリーランスの増加により、人材の

流動化が進んでおり、安定的な人材確保と育成が大きな課題となっております。こうした市場環境を踏まえ、当社ではスタイリストの早期デビュー及び戦力化を目的に、アカデミー機能（教育・研修）及び集客の強化に注力しております。その取り組みの一環として、技術習得の効率化と教育の質の向上を図るべく、カット技法を3Dで再現したVR映像学習アプリを開発し、フランチャイズ店舗の従業員に向けて提供しております。

この結果、当事業年度におけるサロンフランチャイズ事業のセグメント売上高は440,646千円（前年同期比2.3%減）、セグメント利益は163,441千円（前年同期比46.9%増）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当事業年度末における総資産は4,073,825千円となり、前事業年度末と比べて820,947千円増加しました。流動資産は3,943,738千円となり885,112千円増加しました。これは主に現金及び預金が増加したことに加え、業容の拡大に伴い売掛金が63,699千円増加したこと、さらに出荷量の増加に対応するため在庫を積み増し、商品及び製品が59,248千円増加したことによるものです。

また固定資産は130,087千円となり64,164千円減少しました。これは主に繰延税金資産が46,133千円減少したことによるものです。

（負債）

当事業年度末における負債は456,132千円となり、前事業年度末と比べて26,685千円増加しました。これは主に未払法人税等が51,321千円増加、その他流動負債に含まれる未払消費税等が64,029千円増加したことに対して、未払金が52,407千円減少したことによるものです。

（純資産）

当事業年度末における純資産は3,617,693千円となり、前事業年度末と比べて794,262千円増加しました。これは主に当期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。))は2,652,576千円となり、前事業年度末と比べて787,773千円増加しました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は676,827千円(前年同期は21,129千円の使用)となりました。主な要因は税引前当期純利益942,760千円、減価償却費30,667千円等による資金の増加に対し、売上債権の増加63,699千円、棚卸資産の増加53,778千円、未払金の減少50,493千円、及び法人税等の支払210,051千円による資金の減少があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は13,750千円(前年同期は94,368千円の使用)となりました。これは有形固定資産の取得による支出2,170千円(前年同期は47,104千円の使用)、無形固定資産の取得による支出11,579千円(前年同期は68,615千円の使用)があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は124,696千円(前年同期は資金の増減はありません)となりました。これは主に新規上場に伴う株式の発行による収入143,980千円があったことによるものです。

（４）今後の見通し

当社は、「Boys, Be Beautiful! (自由に、幸福に生きるすべての人へ。ありのままの自分を楽しむことは、なによりも美しい。)」をコンセプトに、お客様にあらゆる事業を通じて付加価値を提供し続け、メンズビューディーの

スタンダードブランドになることを目指してまいります。

商品事業については、小売店への新規配荷が一段落すること、また商品開発の谷間となることで伸長率の一時的な鈍化を予想しております。また中期的な事業成長と市場でのプレゼンス向上を目指し、スタイリング剤やヘアケア商品のシェア拡大、さらにはスキンケア商品の認知向上を図るべく新たな顧客層の取込みを行うため、訴求力の高いプロモーション施策に前年と比べより多くの資金を投じる計画としております。これらの結果、セグメント売上高は4,398,279千円(前年同期比10.8%増)、セグメント営業利益は619,914千円(前年同期比21.1%減)を見込んでおります。

サロンフランチャイズ事業については、シェアサロンというビジネスモデルが台頭しフリーランスへの転身が容易になったことで業界全体で人材の流動化が加速しております。当社フランチャイズ加盟先においても人材の流失に起因した厳しい経営環境にあることを受けてロイヤリティ収入が減少することを予想しております。その結果、セグメント売上高は349,986千円(前年同期比20.6%減)、セグメント営業利益は85,567千円(前年同期比47.6%減)を見込んでおります。

以上により、全社での2026年8月期の業績予想につきましては売上高4,748,266千円(前年同期比7.7%増)、営業利益705,481千円(前年同期比25.7%減)、経常利益705,936千円(前年同期比25.0%減)、当期純利益489,779千円(前年同期比24.9%減)を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準については日本基準を適用しております。なお、国際会計基準(IFRS)の適用については、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当事業年度 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,864,803	2,652,576
売掛金	550,996	614,696
商品及び製品	444,621	503,870
原材料及び貯蔵品	100,135	94,664
前払費用	59,672	73,624
その他	38,397	4,306
流動資産合計	3,058,625	3,943,738
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	33,210	33,770
減価償却累計額	△1,580	△3,712
建物附属設備（純額）	31,629	30,057
工具、器具及び備品	27,634	29,245
減価償却累計額	△15,858	△21,787
工具、器具及び備品（純額）	11,775	7,458
有形固定資産合計	43,405	37,516
無形固定資産		
商標権	6,165	5,392
ソフトウェア	18,715	17,159
その他	632	834
無形固定資産合計	25,512	23,386
投資その他の資産		
出資金	10	10
長期前払費用	1,319	2,250
繰延税金資産	91,552	45,418
その他	32,450	21,505
投資その他の資産合計	125,333	69,184
固定資産合計	194,251	130,087
資産合計	3,252,877	4,073,825

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当事業年度 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,538	30,491
未払金	146,171	93,764
未払費用	17,166	21,142
未払法人税等	99,321	150,643
契約負債	337	324
預り金	8,241	9,433
賞与引当金	35,427	43,942
その他	36,741	82,689
流動負債合計	402,947	432,432
固定負債		
預り保証金	26,500	23,700
固定負債合計	26,500	23,700
負債合計	429,447	456,132
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	171,990
資本剰余金		
資本準備金	24,250	96,240
その他資本剰余金	1,488,750	1,488,750
資本剰余金合計	1,513,000	1,584,990
利益剰余金		
利益準備金	750	750
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,207,660	1,859,963
利益剰余金合計	1,208,410	1,860,713
株主資本合計	2,821,410	3,617,693
新株予約権	2,020	—
純資産合計	2,823,430	3,617,693
負債純資産合計	3,252,877	4,073,825

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
売上高	3,760,918	4,409,577
売上原価	1,533,704	1,851,044
売上総利益	2,227,213	2,558,533
販売費及び一般管理費	1,506,242	1,609,226
営業利益	720,970	949,306
営業外収益		
受取利息	0	15
違約金収入	—	6,263
補助金収入	30	3,500
業務受託料	801	434
受取補償金	752	—
その他	32	634
営業外収益合計	1,617	10,849
営業外費用		
上場関連費用	—	19,283
固定資産除却損	3,049	131
その他	97	0
営業外費用合計	3,146	19,415
経常利益	719,441	940,739
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,020
特別利益合計	—	2,020
特別損失		
減損損失	120,501	—
特別損失合計	120,501	—
税引前当期純利益	598,939	942,760
法人税、住民税及び事業税	221,431	244,323
法人税等調整額	△46,203	46,133
法人税等合計	175,227	290,457
当期純利益	423,712	652,302

売上原価明細書

		前事業年度 (自 2023年 9 月 1 日 至 2024年 8 月31日)		当事業年度 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 8 月31日)		
区分	注記 番号	金額(千円)		構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 製品売上原価	※					
(1)材料費		475,640		31.6	530,734	31.2
(2)経費		1,027,608		68.4	1,172,631	68.8
当期製造費用		1,503,248		100.0	1,703,365	100.0
期首製品棚卸高		210,684			403,631	
合計		1,713,933			2,106,996	
製品他勘定振替高		14,029			25,140	
期末製品棚卸高		403,631	1,296,272		477,217	1,604,639
II 商品売上原価						
商品売上原価			74,625		84,871	
III フランチャイズ売上原価						
労務費		148,897			138,641	
支払手数料		13,909	162,806		22,892	161,534

(注) ※ 経費の主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年 9 月 1 日 至 2024年 8 月31日)	当事業年度 (自 2024年 9 月 1 日 至 2025年 8 月31日)
外注加工費	1,009,231 千円	1,156,353 千円
その他	18,376 〃	16,277 〃

(原価計算の方法)
総合原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金			利益剰余金
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金
当期首残高	100,000	24,250	1,488,750	1,513,000	750
当期変動額					
当期純利益					
当期変動額合計	—	—	—	—	—
当期末残高	100,000	24,250	1,488,750	1,513,000	750

	株主資本			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金		株主資本合計		
	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	繰越利益剰余金				
当期首残高	783, 947	784, 697	2, 397, 697	2, 020	2, 399, 718
当期変動額					
当期純利益	423, 712	423, 712	423, 712		423, 712
当期変動額合計	423, 712	423, 712	423, 712	—	423, 712
当期末残高	1, 207, 660	1, 208, 410	2, 821, 410	2, 020	2, 823, 430

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金			利益剰余金
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金
当期首残高	100,000	24,250	1,488,750	1,513,000	750
当期変動額					
新株の発行	71,990	71,990		71,990	
新株予約権の放棄					
当期純利益					
当期変動額合計	71,990	71,990	—	71,990	—
当期末残高	171,990	96,240	1,488,750	1,584,990	750

	株主資本			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金		株主資本合計		
	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	繰越利益剰余金				
当期首残高	1, 207, 660	1, 208, 410	2, 821, 410	2, 020	2, 823, 430
当期変動額					
新株の発行			143, 980		143, 980
新株予約権の放棄				△2, 020	△2, 020
当期純利益	652, 302	652, 302	652, 302		652, 302
当期変動額合計	652, 302	652, 302	796, 282	△2, 020	794, 262
当期末残高	1, 859, 963	1, 860, 713	3, 617, 693	—	3, 617, 693

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	598,939	942,760
減価償却費	51,535	30,667
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,285	8,515
受取利息及び受取配当金	△0	△15
固定資産除却損	3,049	131
減損損失	120,501	—
新株予約権戻入益	—	△2,020
上場関連費用	—	19,283
売上債権の増減額(△は増加)	△199,865	△63,699
棚卸資産の増減額(△は増加)	△262,988	△53,778
仕入債務の増減額(△は減少)	12,091	△29,047
未払金の増減額(△は減少)	△82,546	△50,493
前払費用の増減額(△は増加)	62,105	△13,951
未払消費税等の増減額(△は減少)	△61,680	95,535
その他	15,873	2,976
小計	259,299	886,862
利息及び配当金の受取額	0	15
法人税等の支払額	△280,430	△210,051
営業活動によるキャッシュ・フロー	△21,129	676,827
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,104	△2,170
無形固定資産の取得による支出	△68,615	△11,579
敷金及び保証金の回収による収入	21,351	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,368	△13,750
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	143,980
上場関連費用の支出	—	△19,283
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	124,696
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△115,498	787,773
現金及び現金同等物の期首残高	1,980,301	1,864,803
現金及び現金同等物の期末残高	1,864,803	2,652,576

(5) 財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別のセグメントから構成されており、「商品事業」及び「サロンフランチャイズ事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「商品事業」は、スタイリング剤を含むヘアケア商品、男性向けスキンケア・メイクアップ商品等の企画・販売を行っております。

「サロンフランチャイズ事業」は、メンズヘアサロンのフランチャイザーとして加盟店に対する経営指導、店舗運営支援、美容師への技術指導等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	商品事業	サロンフランチャイズ事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,309,671	451,246	3,760,918
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	3,309,671	451,246	3,760,918
セグメント利益	609,691	111,279	720,970
その他の項目			
減価償却費	14,292	37,243	51,535

(注) 1. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。ただし、配分されていない償却資産の減価償却費は、合理的な配賦基準で各事業セグメントへ配賦しております。

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	商品事業	サロンフランチャイズ事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,968,931	440,646	4,409,577
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	3,968,931	440,646	4,409,577
セグメント利益	785,864	163,441	949,306
その他の項目			
減価償却費	12,612	18,054	30,667

(注) 1. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。ただし、配分されていない償却資産の減価償却費は、合理的な配賦基準で各事業セグメントへ配賦しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外への外部顧客への売上高がないため該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社大山	1,409,707	商品事業
アマゾンジャパン合同会社	953,816	商品事業

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外への外部顧客への売上高がないため該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社大山	1,718,126	商品事業
アマゾンジャパン合同会社	1,038,072	商品事業
中央物産株式会社	528,655	商品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	商品事業	サロンフランチャイズ事業	
減損損失	—	120,501	120,501

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり純資産額	1,128.56円	1,418.70円
1株当たり当期純利益	169.48円	260.01円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	238.02円

- (注) 1. 当社は、2025年3月15日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であることから、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 当社は、2025年6月30日に東京証券取引所グロース市場に上場しております。2025年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2025年8月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	423,712	652,302
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	423,712	652,302
普通株式の期中平均株式数(株)	2,500,000	2,508,767
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	231,827
(うち新株予約権(株))	(—)	(231,827)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権4種類 (新株予約権の数35,549個) (普通株式888,725株)	—

5. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度末 (2024年8月31日)	当事業年度末 (2025年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,823,430	3,617,693
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	2,020	—
(うち新株予約権)(千円)	(2,020)	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,821,410	3,617,693
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,500,000	2,550,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。